

中期経済見通しと債券・株式の リスク・リターン見通しの考え方

2002年11月21日

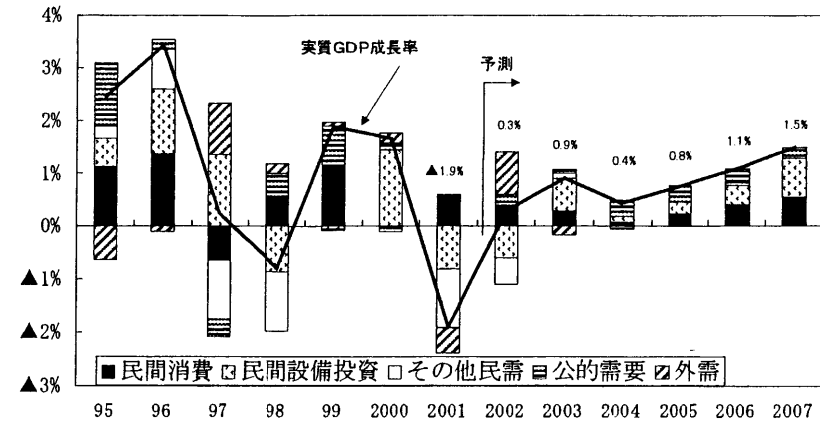
(株)ニッセイ基礎研究所

中期的な経済像

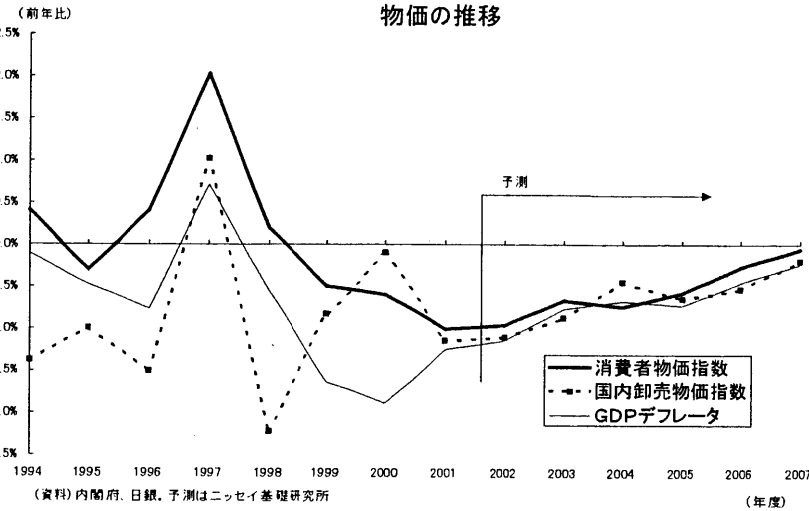
デフレ脱却困難な中期経済見通し

- 中期的に低成長が続く
 - ・2003～2007年度の平均成長率：実質0.9%、名目0.4%
- 短期間でデフレからの脱却は困難
 - ・消費者物価：年平均▲0.5%下落、2007年度にほぼ「ゼロ」
- 中期的に低金利が持続
 - ・短期金利：ゼロ金利からの脱却は2007年度以降
 - ・長期金利：デフレからの脱却が視野に入ると徐々に上昇

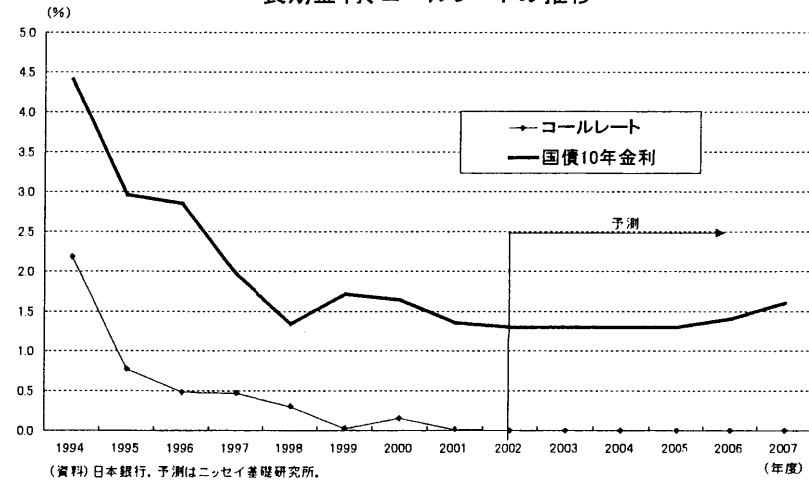
(前年度比) 実質GDP成長率の推移



(資料)内閣府経済社会総合研究所「国民経済計算年報」、予測はニッセイ基礎研究所 (年度)



長期金利、コールレートの推移

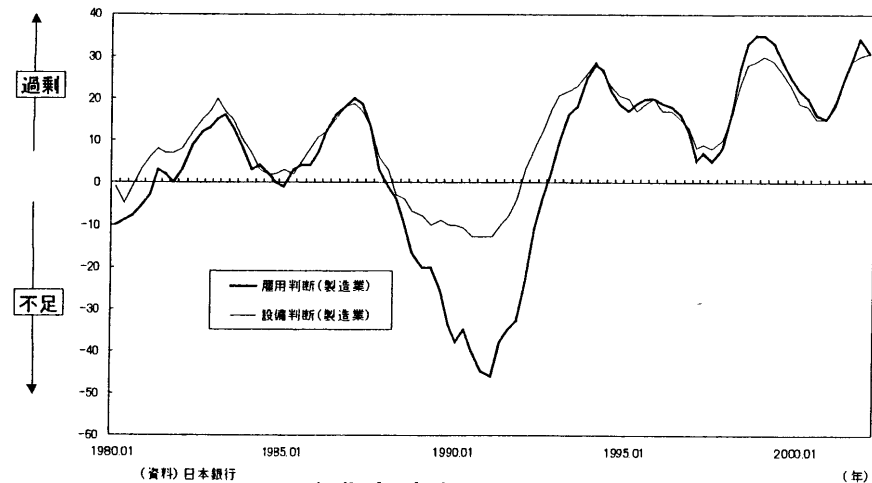


依然残る過剰問題

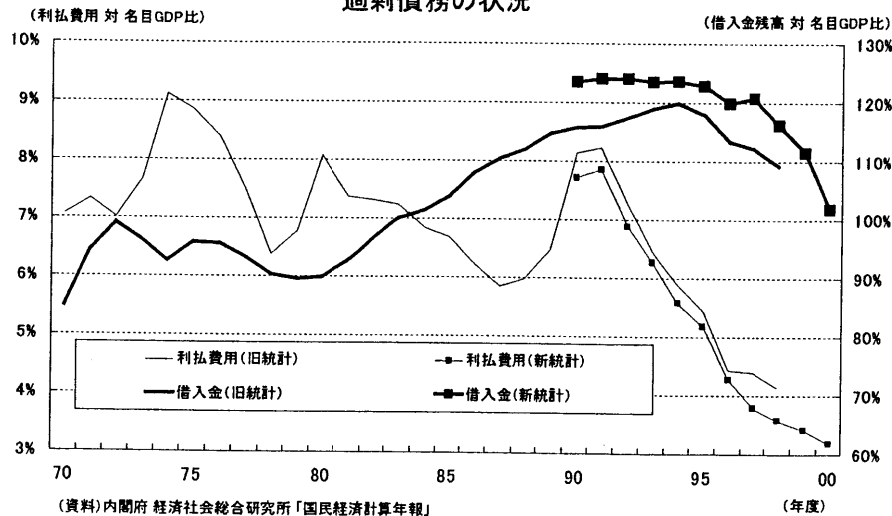
バブル崩壊による3つの過剰問題

- 過剰雇用・過剰設備問題は悪化
 - ・景気が回復しても顕著に改善しない
 - ・解決が容易でない理由：「構造的」な需要不足問題の存在
- 過剰債務問題には改善が見られる
 - ・フロー：低金利で利払い負担は過去の水準を下回る
 - ・ストック：債務の対名目GDP比は徐々に低下
- 不良債権問題の背景に企業収益率の低さ
 - ・ROA（総資本利益率）の日米格差は拡大

雇用・設備DIの推移



過剰債務の状況



日米非金融法人のROA比較

